

すぎと まちこんじゃくしゅういろく 杉戸町今昔拾遺録

温古知新
杉戸の
歴史をばれ話

第15回

すまいの原型その1 プリミティブ・ホームライフ

今回からは、私たちの生活の原点である、「すまい」についてお話をしたいと思います。そもそも、私たちにどうしてすまいとは何でしょうか。その答えを探るため、遙か原始時代へと時間を遡ってみます。

定住のための竪穴建物（住居）が歴史に登場する以前、旧石器時代の人々は絶えず移動する生活を送っていました。彼らのすまいである洞窟や岩陰、平地につくられた小屋は、厳しい自然環境におかれていたことは、想像に難くありません。しかし、それらは単に心身の休息を得るための物理的なシェルターだったのでしょうか。おそらく、そこにはもっと別な「文化の文法」あるいは、「人を動かす見えない操り糸」と呼べるような構造が隠れているはずですよ。

当時の人々は、周囲の自然環境と深く結びつき、その一部として生きていました。すまいは、火を囲んで食卓を共にし、石器を打ち、言葉を交わす場所です。ここでは、狩猟の知恵や道具作りの技術、そして家族の記憶が、身ぶりと言葉を通じて次世代へと伝えられていったことでしょうか。このように、生活技術、社会的な絆、文化的な継承が紡ぎ上げられる中心、それこそが「交感の拠点」としてのすまいの本質だったのではないのでしょうか。

翻って現代の私たちはどうでしょうか。すまいは機能ごとに細分化され、くらはしは効率化されました。その中で、かつては一体であった「作る・食べる・語らう」といった人の営みが切り離され、すまいが持っていたつながりを実感する機会が減っているようにも感じられます。この感覚の変容が、私たちの認知に漂うある種の「ゆらぎ」を生み出しているのかもしれない。

太古のすまいのありようを繙くことは、単なる歴史探訪とは異なります。そこには、私たちの文化的な営みの原型が刻まれています。その多層的なつながりを見つめ直すことは、現代における「関係性の希薄化」を乗り越え、より実感をともなった豊かな暮らしを再構築していくための、大きなヒントを与えてくれるかもしれません。

（社会教育課 町史・文化財担当編）

わが家のアイドル

掲載された方には**特製カード**をプレゼント！
皆さんのステキな1枚をお待ちしています！

詳しくはこちら▶



こちらから簡単応募▶



P25にも「わが家のアイドル」があります！

さとう
佐藤 みかん
ちゃん
令和2年6月20日生



いちごが大好き！

たかやま
高山 翔
くん
平成25年7月26日生



それゆけ！
我が家の
イケメン長男
翔くん

にし
西 コロン
ちゃん
令和6年1月13日生



いつもこのポーズで
みんなのご飯を
狙ってます！

やなかわ
柳川 あんこ
ちゃん
令和4年9月2日生



やなかわ
柳川 みなこ
ちゃん
令和4年6月25日生

わたしを見たら
ナデナデしてね！

よこやま
横山 まめ
ちゃん
令和2年8月19日生



これからも
沢山思い出
作ろうね！

よした
吉田 れおん
ちゃん
平成29年7月27日生



我が家の癒しの
ちよつと臆病な
れおんちゃん



読みやすい書体であるユニバーサルデザイン (UDフォント) を使用しています。



杉戸町
ホームページ



メール配信
「すぎめー」



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE



杉戸町
公式X